

八基連だより

3月号 第259号



長池公園 長池見附橋(別所)

<http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/>

発行日 平成25年3月1日(金)
発行所 八王子囲碁連盟
住 所 八王子市台町3-22-1-121
TEL (042) 625-9529
発行人・三上 靖宏
編集者・山縣 文雄

八王子囲碁連盟の目的

八基連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

勝 負

川口囲碁同好会 松崎邦夫

今年1月5日の早朝、テレビのチャンネルを回していたら坂田栄男さんが映っていました。NHK映像ファイル「あの人に会いたい」という番組です。

坂田さんは、昭和26年橋本昭宇太郎本因坊に挑んだ第6期本因坊戦のときのエピソードを紹介。7番勝負の5局目、昇仙峡での敗北をきっかけに本因坊を逃がします。このときの経験をいかし、その後は勝とう勝とうの大欲を捨て、虚心坦懐、無念無想で良い碁を打つように心掛けたということでした。

この本因坊戦でのことを、坂田さんは「大勝負」という題で随筆に書いています。その概要は次のようなものです。

「はじめての本舞台に慣れないまま、自分の実力が出せば満足、と勝負を度外視して謙虚な気持ちで臨みました。大勝負の割には冷静に打って4局まで3勝1敗となりました。あと1勝すれば本因坊と、周囲もわいわい言い出し、自分もその気になり、第5局は早くこの一番を片づけて本因坊になりたい、という気持ちが先に立ってしまいました。欲が先に立ちコチコチに固くなってしまい好局を落とし、あとはあせるばかりで6、7局をずるずる負けてしまいました」

昭和36年、昇仙峡の本因坊戦から10年後、坂田さんは白布温泉で高川本因坊に勝利し、翌年名人位も獲得。その後7つのタイトルを獲得し名実ともに坂田時代を築きました。

「囲碁の勝負は大変メンタルなもの」とどこかで読んだ記憶があります。プロでさえ勝負には技術以外に作用するものがあるということです。アマの勝負では技術以外の要素が大きく作用しているように思います。実力は変らない筈なのに、調子の良いときと悪いときがあります。「負けが続いて、

どう打っても勝つような気がしない」と相談されたときには「自分の気持の問題」と答えています。実は、私自身がそうなのです。負け続きで勝てない日があります。そんなときは畏縮しているか、勝とうと思って無理な手を打っているのだと思います。

勝負ごとは悲観するより楽観するほうがいいと言います。悲観するとどうしても無理な手を打ち自滅します。囲碁や将棋は所詮ミスの少ない方が勝つゲームと、劣勢でもあせらず辛抱できるようになれば勝率も良くなると思うのですが・・・。

第14回棋聖大賞囲碁大会の結果

棋聖大賞大会が、去る1月27日（日）に技術顧問、指導員、業務委嘱者、諮問委員会委員、地区囲碁同好会役員、7段会員、八碁連理事等が参加して開催されました。相談役三浦浩氏もお見えになり、何人かの方が指導碁を打っていただきました。

参加者（42名）	優勝	準優勝	第三位
A組（7段以上）18名	名取豊彦 顧問/9段	荒井良夫 顧問/9段	鈴木信義 顧問/9段
B組（6段以下）24名	小田辰郎 長房/5段	浜中武夫 中野/3段	山縣文雄 北野/6段

第20回タイトル囲碁大会の結果

タイトル囲碁大会が去る2月10日（日）に開催されました。

参加者（60名）	優勝
名人戦（20名）	井上国臣 6段/川口→7段に昇格
王座戦（21名）	上野純親 6段/浅川
天狗戦（19名）	松本健彦 6段/石川

4月の囲碁大会のお知らせ

第23回 生きいき囲碁地区大会のご案内

浅川大会

- 日時 平成25年4月7日(日) 受付 午前9時00分～9時30分
会場 横山南市民センター(梶田町137-3 Tel 666-0031)
主催 浅川囲碁同好会
後援 日本棋院 八王子市 八王子市教育委員会
参加資格 市内に居住している囲碁愛好者
参加費 会員1,000円(弁当代を含む) 非会員 1,100円
(4月から参加費が値上げされる予定です。)
申込先 会長 望月 成一 初沢町1227-4-A-522 Tel・Fax 663-9758
申込期限 3月24日
競技方法 3ないし4のクラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込方法 同好会の会長を通して申し込んでください。

明け方に老人は目覚める。手伝いの少年を起こし、帆柱や銚をかつぎ、海岸のボートへ行く。『幸運を』と少年が手を振る。ハバナの港から、朝焼けに染まるカリブ海に、手漕ぎで、沖へ乗り出して行く。

映画『老人と海』は、ワーナーブラザーズ作品。主演スペンサー・トレイシー。原作はヘミングウェイである。このビデオは、50才の頃手に入れた。78才の正月、あらためて見ると、老人としての感慨がこみ上げた。

さて老人は餌にする魚を釣った。『海は美しく、残酷だ。海は生きておる』やがて大きな魚が鉤にかかったが重くて引き揚げられず、姿も見えない。船はゆっくりと北西に動き始めた。『今に死ぬ。何時まで持つか。何て魚だ。どんな姿が見たい。半日たつのにまだ揚がらねえ』海に日が沈み、夜が明け、3日目になった。掌がロープで切れ、血が吹き出た。この時、海面を割り、巨大なマーリン（カジキマグロ）が、空中に舞いあがった。『魚よ、お前は立派でえらい奴だが、利口じゃねえ。だから人間に殺される』魚は三度ジャンプした。老人は魚を引き寄せ、銚を打ち込んだ。帆を張り、帰途についた。サメの群れが襲来し、カジキの肉を食いちぎり、巨大な骸骨だけを残した。船は帆に風を受けて流れ、母港ハバナの灯を見た。老人は敗北感をかみしめ、船底に倒れていた。『海は友でもあり、敵でもある。人間は、海に負けない。破滅はするが、負けはしない』次の朝、少年は、小屋のベッドに倒れている老人を発見し、寝息を確かめ、傷ついた手を見て、涙を流した。老人は幼時に暮らしたアフリカの海、そしてライオンの夢を見ていた。

『今頃、リンさんは、尖閣の夢を見ているのか』新年の早朝、私はつぶやいた。テレビには尖閣の領海を航行する中国の監視船が映っていた。北野支部の『山本林氏』皆は親しみをこめて、『リンさん』と呼ぶ。リンさんは映画「海猿」で知られる海上保安庁に生涯を捧げ、尖閣諸島等の領海警備、不審船の臨検、拿捕等の海上警察権の行使、海難救助、海図の発行などに当たり、退官後、瑞宝小綬章を受賞、宮中に参内、陛下の拝謁を賜った。

リンさんは沖縄在勤時、尖閣の魚釣島、南小島に上陸している。日本青年社という右翼団体設置の小型灯台の実況検分のためである。あの海は、リンさんの故郷のような存在か。安倍首相は憲法改正の方向という。日中の尖閣海戦は起こるのか。リンさんの老いた血は騒ぐのか。

私は今、囲碁の海を漂流している。鯨やオキアミは追っても、戦争は好まない。週刊碁で活躍する中国人棋士。彼らとの熱き交流こそが、今にして強く望まれる。今年は機会があれば、お手合わせを願いたいと思う。リンさんも私も、強敵マーリン（カジキ）を求め、囲碁の大海を航行する年になりそうだ。

『人生も 末の初夢 海踊る』

『人生の 航路のかなた カジキ舞う』

◎第1 1回八碁連理事会報告

日時 平成25年1月25日(金) 9:00~12:00

出席者 理事6名

- 議案
1. 活性化実行委員会検討資料のまとめ
 2. 1月27日(日)八碁連棋聖大賞囲碁大会について
 3. 2月10日(日)タイトル大会について
 4. 総会資料作成担当者について
 5. その他 25年度予算編成、25年度人事他

◎第1 2回八碁連理事会報告

日時 平成25年2月2日(土) 9:00~12:00

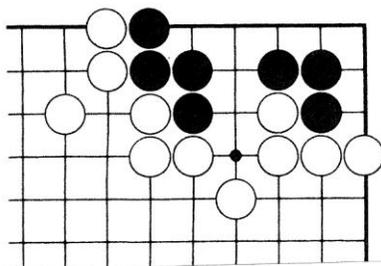
出席者 理事6名

議案 総会資料作成について

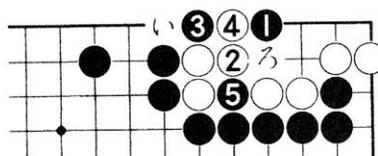
詰碁

白先黒死(玄玄碁経)

ヒント 押す手なし



前回解答



白6手目、白ろとつげない。

白いと取れば、黒ろまで。

長池公園 長池見附橋(別所)

長池公園は多摩ニュータウンの開発に伴って失われていく多摩丘陵の原風景を保全する目的で、1984年に計画され、2000年にオープンされました。面積およそ20ヘクタール。長池見附橋は長池から流れる湧水をせき止めた池の上に、四谷見附橋を架け替えた時の資材の一部を利用して復元されたものです。

編集後記 総会を残しておおかたの行事が終わりました。長い間どうもありがとうございました。来年度から、A4版に変わります。